

令和4年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

質問1 子ども会育成会について	10月13日(木) 国分寺公民館
育成会に加入するお子さんが少なくなっているが、育成会加入を促進するにはどうしたらよいでしょうか。	
回答	
<p>子どもの生きる力を育むためには、地域の大人が積極的に関わり、育てたい子どもの姿を共有するとともに、子どもたちが様々な経験を重ねる機会をつくることが大切です。</p> <p>まずは、地域の大人どうしの横のつながりやネットワークの中で、子どもたちのために何ができるかなどを話しあえる場のコミュニティ作りが重要であると考えます。</p>	

質問2 神輿のイベントについて	10月13日(木) 国分寺公民館
夏祭り前のタイミングで、市中の神輿を市役所等に一堂に集めてイベントを開催したらどうでしょうか。	
回答	
<p>行政機関は公平中立のため、政教分離の原則が求められており、市で主体的にこのようなイベントを実施することは難しいですが、各地域の合意のもとに市民の皆様の実行委員会による実施に対して、公共施設の場所を提供するという形式であればご協力することはできると考えます。</p>	

質問3 薬師が池の溢水対策と桜の枝の伐採について	10月13日(木) 国分寺公民館
溢水対策のため、汚泥の除去と蓮の花の整理をお願いしたい。また、池の東側の桜の枝を伐採していただきたいです。	
回答	
<p>汚泥の溜まり具合を見ながら、汚泥の除去を実施いたします。蓮の花については、ある程度期間を見て整理していきたいと考えております。</p> <p>調整池東側の桜の枝の伐採につきましては、道路交通の支障にならない程度の剪定を実施いたします。</p>	

質問4 デマンド交通の日曜日の運行について	10月13日(木) 国分寺公民館
デマンド交通(お出かけ号)を日曜日にも運行していただきたいです。	
回答	
<p>利便性の向上を図るため、運行形態などについて皆様からのご意見をいただいたうえで採算性などを考慮しながら、引き続き地域公共交通会議の中で検討していきたいと考えております。</p>	

質問5 高齢者が楽しく集まれる場の設定について	10月13日(木) 国分寺公民館
<p>傾聴を希望する方を集めておしゃべりできる場を設定したく、希望する高齢者を把握するための民生委員の協力、傾聴の場に来るための交通手段、傾聴クラブや講座の卒業生の協力及びスキルアップ講座の開設を要望します。</p>	
回答	
<p>民生委員が集まる定例会の中で、傾聴ボランティア団体も含めた登録ボランティアグループをご紹介することは可能です。社会福祉協議会が事務局となっているボランティアセンターでは、ボランティア登録団体の方に、ボランティアを必要としている人を紹介しております。</p> <p>交通については、福祉タクシーや市のデマンド交通である「お出かけ号」をご利用いただきたいと思います。お出かけ号は、ご予約に応じてご自宅や公共施設までお迎えに行くことができます。</p> <p>また、社会福祉協議会では「傾聴ボランティア養成講座」を開催しているところですが、今後も、スキルアップ講座の開催等も含めて、このような講座の開催について積極的に促進してまいりたいと考えております。</p>	

質問 6 高齢者が語る下野の歴史を残す	10月13日(木) 国分寺公民館
<p>高齢者が持っている昔の習慣や歴史や考えなどを残す取り組みをお願いしたいです。高齢者から地域の歴史や生活習慣、様々な知恵、技術などを語ってもらい、聞き書きという手法でまとめることで、その時代の情報や共通知識を残すだけでなく、自分の歴史を話す楽しみとなると思います。</p>	
回答	
<p>高齢の方から、その経験や風習、知恵、自分史をお伺いすることは、その方の生きがいづくりにつながるるとともに、貴重な言霊・遺志の伝承につながるものと考えますが、民間伝承や自分史となると市で関わらせていただくことは難しくなります。</p> <p>高齢者の生きがいづくりという観点から、たとえば公民館で行う終活講座の一コマとして自分史作成をメニューに取り入れることは検討できると思われまます。そのような講座と、ボランティア活動とが連携することで、当時の共通知識や自分史を聞き書きでまとめることもできるかもしれません。</p>	

質問 7 消防団員のなりて不足対策について	10月13日(木) 国分寺公民館
<p>消防団員のなりて不足について、対策をお願いしたいです。</p>	
回答	
<p>全国的にも消防団員は年々減少しており、消防団員の確保は重要な課題であります。</p> <p>市では、例年新入団員の入団時期を4月としておりましたが、昨年度からは年度途中でも入団できるようにしたところですが、例年4月の自治会長説明会においても消防団確保のお願いをしておりますが、今後も、積極的に消防団活動をアピールし新入団員の確保に努めてまいります。</p>	

質問 8 水道整備事業について	10月13日(木) 国分寺公民館
<p>市は、県の方針に賛同し、南摩ダムの河川水を導入する方針で進めようとしていますが、次の理由により、現在の地下水100%の水道水を維持するよう方針の見直しをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8,000超の署名が提出されていること ・市は表流水を必要とする根拠として、県が「水道水源確保に関する検討報告書」で提起した項目を引用しているが、県はこれらを撤回しているため、見直す必要があること ・最近の水害事例に、表流水特有の施設が原因の水害があり、地下水の場合には起こり得ない事故である。それは表流水が地下水より災害に弱いことを示しており、表流水を導入すれば新たなリスクを抱えることを意味すること ・東京都で唯一地下水100%の水道水で注目されている昭島市は、行政と市民が一致協力して地下水の保全・広報活動をしており、その安くて美味しい地下水の水を市の誇りとしていること 	
回答	
<p>本市の美味しく、安く、安全な水道水を今後とも持続的に利用したいという市民の皆様の思いは、理解しております。だからこそ、県の基本方針である「県南地域において、将来にわたり安全な水道水の安定供給を確保するため」、地下水に全面的に依存する現状から、「表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保する。」との、危機管理の考え方に賛同し、県南広域的水道整備事業に参加しております。</p> <p>今後とも、安全で安定した水道水の供給を将来にわたり持続的に保障するという、「水道事業管理者の責務」を果たすため、本市にとって最適な水道水の供給体制を検討してまいりたいと考えております。</p>	

質問 9 水道整備事業について	10月13日(木) 国分寺公民館
<p>市の水道資源は100%地下水であり全く問題ありません。市があえて、地下水よりもリスクが高い川の水を使うのか根拠を説明してください。</p> <p>また、この計画を多くの市民は知りませんので、周知していただきたいです。</p>	
回答	
<p>未来永劫この良質で安全な水道水を供給することにおいて、リスクが想定される限り、県南広域的水道整備事業に参加して、検討すべきだと思います。</p> <p>市民の皆様への周知としましては、広報紙やホームページへの掲載、市民ネットワークとの意見交換や市議会への報告など、様々な機会を通して情報を発信していきたいと考えております。</p>	

質問 10 小山用水路の整備について	10月13日(木) 国分寺公民館
川中子 3329-132 付近のごみステーションに続く道が斜めになっており、足場が悪く非常に危ないです。また、用水路の水が止まると臭いので、対策をお願いいたします。	
回答	
ごみステーションにつきましては、現地を確認して対処させていただきます。 用水路の臭いの原因の1つとして、生活雑排水の流入が考えられます。公共下水道が入っていない地域については、整備されているエリアで接続されていないご家庭について、郵送でお知らせするなど、できるかぎり公共下水道への接続をお願いしてまいります。	

質問 11 カーブミラーの設置について	10月13日(木) 国分寺公民館
自治会長として今年度カーブミラーの設置を4件要望しましたが、設置要望が多いため来年度以降の検討事項とされ、全て不採用でした。予算の制約もあるでしょうが、通学路になっているところもあるので、予算の増額と来年度の設置を要望します。	
回答	
毎年、予算額を超える要望を提出いただいているとことであり、市では基準に照らし合わせたうえで優先順位を決め施工しているところです。 今後はご意見をいただいた通り、少しでも多くの要望に応えられるように関係各所と協力して対応させていただきたいと思っております。	

質問 12 石物建立の施工基準について	10月14日(金) 南河内公民館
石物(墓・石灯籠・記念碑)には現在施工基準がなく、地震等による倒壊で発生する災害に対する補償には、施工者、管理者が責任を問われますし、いざという時の損害賠償の保険会社等もありません。そこで、市の条例にて石物建立の施工基準策定をお願いします。	
回答	
この問題は、本市に限らず地震大国の我が国全体の問題であると考えます。対策するのであれば、まずは国が法律の制定や基準を示すなど、全国的に対策を講じることが先であると考えますので、機会を見出して、ご意見を国に伝えるようにできればと思います。	

質問 13 外国人のための窓口について	10月14日(金) 南河内公民館
日本語がわからない外国人や、日本語が話せても日本の文化やルールがわからなくて困っている外国人が多くいるので、外国人が困りごとや悩みを相談できる窓口があると助かります。	
回答	
本市では、外国人の方で日本語のサポートが必要な方や担当課がわからない場合は、国際交流事業や多文化共生事業を担当している市民協働推進課の窓口をご利用いただけます。ご相談内容等により国際交流員によるご案内や自動翻訳ツール「ポケトーク」を利用したご案内をさせていただきます。また、市国際交流協会では日本語講座を開催しております。 栃木県国際交流協会では「とちぎ外国人相談サポートセンター」を開設しており、外国人のために在留手続、雇用医療、福祉、出産・子育て、子どもへの教育などの各種無料相談を実施しています。 今後も、やさしい日本語を含めた多言語での情報発信を促進するとともに、誰にとっても暮らしやすい多文化共生の地域づくりを推進してまいります。	

質問 14 少子化対策について	10月14日(金) 南河内公民館
現在、少子化を肌で感じています。次世代が住む(市外に出た者がまた下野市に戻ってくる地域)政策、他地域からの移住を進める政策をお願いします。	

回答	
<p>若者の定住を一層促進させるため、移住に関する各種補助金制度をはじめ、市の魅力ある情報を市外に積極的に発信し、東京圏からの移住の促進を図っております。今後も、現在造成中の「しもつけ産業団地」による企業誘致によって雇用の創出を図り、Uターン就職に向けた取組など、さらなる移住定住の促進に努めてまいります。</p>	

質問 15 9月27日の国葬に半旗を掲げた件について	10月14日（金）南河内公民館
<p>9月27日の国葬に半旗を掲げた件について、その理由と、国や県からの要請の有無、そしてどのような手続きで実施されたのか、議会でどのような議論がされたのかを教えてください。</p>	
回答	
<p>国や県からの要請はありませんでしたが、市として弔意を示すため、市役所庁舎のみ半旗を掲揚し、庁舎以外の施設での掲揚は見送らせていただきました。</p> <p>なお、半旗の掲揚については、市長として判断すべきものと考え、議会での議論は行っておりません。</p>	

質問 16 主権者教育について	10月14日（金）南河内公民館
<p>主権者教育について、市長はどのようなお考えですか。どのようなテーマ・方法で実施されていますか。また、今後のテーマがあれば教えてください。</p>	
回答	
<p>若者が政治や選挙に対して自ら主体的に行動する機会を提供することが重要であると考えております。</p> <p>主権者教育の一環として、市内にある高等学校等において選挙出前講座の実施、中学校の生徒会選挙において、実際の選挙で使用している投票箱や記載台の貸し出しを行っております。また、市内在住の選挙権を有する高校生を対象にした投票立会人の募集、さらには、生徒の視点から政策提言する機会を設けることを目的とした中学生議会の開催、明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施、小学3年生による市庁舎見学や6年生への「みんなの市議会」のパンフレットの配布なども行っております。※小学校には義務教育学校が含まれます</p> <p>社会教育においては、幅広い世代に対して、政治の仕組みを学び、政治の関心を高めるための講座を実施することは、公民意識を醸成するために必要な学びを支援することにつながると考えており、これまでも、まちづくりリクエスト講座のメニューとして「選挙に行こう」のを企画や、県の「主権者教育オンライン講演会」を周知しております。</p> <p>今後の取り組みとしては、女性の政治分野への参画を推進し、男女が平等に参画する民主政治の発展を目指していく必要があるものと認識しております。女性の政治参加に対する意識の改革、人材育成の必要性や、女性が政治に参加しやすい環境づくりが重要であると考えております。</p>	

質問 17 水道整備事業について	10月14日（金）南河内公民館
<p>下野市は、おいしい地下水100%の水道があり、とても恵まれた地域です。ダムの工事を止めて、今後も地下水100%を守ってほしいです。</p>	
回答	
<p>おいしい水道水をこれからも継続して安定的に供給すること、貴重な財産である地下水を守っていくことは、水道事業管理者である市長の責務だと感じております。このような思いの中、地下水100%を未来永劫続けられるとは言えないため、少しでもリスクを回避するため、県南広域的水道整備事業に参加し、検討している状況であります。</p>	

質問 18 薬師が池の睡蓮の除去について	10月14日（金）南河内公民館
<p>薬師が池の溢水問題で、睡蓮を除去してほしいという意見があり、溢水を防ぐために除去するという理屈が理解できません。睡蓮などの水生植物は、見て楽しむためだけのものではなく、池の水質浄化に貢献しているので、除去するにしてもそういう点を考慮して進めていただきたいです。</p>	

回答	
<p>睡蓮については、増えすぎてしまったという理由により、全部ではなく一部除去することを考えております。やはり、水生植物であり水質浄化のこともありますので、今後も期間を見て整理していきたいと考えております。</p>	

質問 19 市長の政治家としての考えについて	10月14日（金）南河内公民館
<p>市長になって、一番これがやりたい、というのは何かをお聞きしたいです。そして、どのようにして実行しようとしているのか、ご自身の思いをお話していただきたいと思います。</p>	
回答	
<p>下野市の魅力とポテンシャルを生かしたまちづくりです。3 駅を中心に都市計画を力強く進め、人口増、企業誘致で新たな財源を確保し、企業やたくさんの方、特に子育て世代や働き世代の方に選んでもらえるまちづくりを進めていきます。また、本市は病院、クリニックが多くありますので、医師会としっかり連携を図り、安心して医療を受けられる政策に力を入れていきたいと考えております。</p>	

質問 20 南河内公民館のネットワーク整備について	10月14日（金）南河内公民館
<p>南河内公民館の Wi-Fi の通信状況が悪く、公民館は避難所にもなっていますが、災害時にはネットワークが非常に重要な集団となるため、非常に心配です。ネットワークを2ルートにしておくことを提案します。</p>	
回答	
<p>通信事業者へ新しいプラン等を確認しまして、通信内容を拡大できるような構築方法も検討してまいります。Wi-Fi につきましても、新たな通信規格の Wi-Fi や、新世代の移動通信システム Wi-Fi6 といったものも今後情報収集したうえ、通信環境の向上に努めてまいりたいと考えております。</p>	

質問 21 自治医科大学との連携強化について	10月15日（土）グリムの館
<p>自治医科大学との連携強化策を立案し、連携体系強化プロジェクトを構築していただきたいです。高齢化率 26%を超えた現在、さらなる連携強化策を早急に立案し、具現化を図ることが必要ではないでしょうか。</p>	
回答	
<p>本市では、自治医科大学との連携事業により、誰もが「健康」で「安心」した生活を送れるまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>1 点目として、「日本人一般住民における循環器疾患発症に関するコホート研究」を実施しています。10 年間の追跡を行い、今後は、データ解析により、本市の脳卒中、心筋梗塞といった循環器疾患の発症に関して研究してまいります。将来的には、データを基に健康施策に反映されることが期待できます。</p> <p>2 点目として、「血管年齢検査は住民健診の受診率向上に寄与するか」を実施しています。集団検診会場で動脈硬化評価検査を実施し、血管年齢や高血圧発症リスク値を予測することにより、疾病予防や健康管理意識の向上、生活習慣の見直しにより、心血管疾患の発症を予防することにつながります。</p> <p>3 点目として、看護学部と協同で、自治会単位の「生活実態調査」を実施しています。40 歳以上の方を対象に生活状況や健康状態、地域における支え合いの実態や意識調査となります。調査結果については、地域の課題や特性について自治会に報告し、また健康づくり等に関する情報を各世帯に配布しています。</p> <p>4 点目として、自治医科大学公開講座を共催として開催しています。今年度は「認知症」をテーマとして動画配信として実施しています。</p> <p>これらに加えまして、自治医科大学附属病院各診療科、公衆衛生学教室及び看護学部の先生方には、健康福祉部各課の計画策定、各事業の推進に大きくご協力をいただいている他、年 1 回、自治医科大学附属病院と市で意見交換会の場を設けており、連携強化のための重要な場となっております。</p> <p>今後も多様な連携により、「子供から高齢者まで安心安全なまちづくり」を目指し、政策展開を図ってまいります。</p>	

質問 22 人材育成について	10月15日(土) グリムの館
高度情報化社会において、地域間競争を勝ち抜くためには、長期的な人材育成を何より優先すべきです。	
回答	
<p>第二次下野市総合計画後期基本計画の基本施策に「将来を担う人づくり」「生涯にわたり学べる機会づくり」として、県と同様に多くの事業を展開しているところであります。</p> <p>市職員の人材育成としましては、「下野市職員人材育成基本方針」に基づき、新時代に求められる職員像として、3つの基本理念を掲げております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時代や状況の変化を読み取りながら仕事を進める職員 2 市民から信頼される職員 3 市民と連携協力して地域づくりのできる職員 <p>今後も目まぐるしく変化する時代のニーズを読み取りながら、人材育成のための様々なプログラムを実践してまいります。</p>	

質問 23 文化センターの建設について	10月15日(土) グリムの館
文化センターの建設を検討していただきたいです。大人数のイベントができないという声もあります。今すぐでなくてもいいので、具体的にいつ頃なのかをお聞きしたいです。	
回答	
<p>今までも議会における一般質問や、市民の皆様から要望等が出されており、第二次下野市総合計画後期基本計画においても、「文化芸術施設整備」の検討を位置づけ、これまで様々な検討を行ってまいりました。</p> <p>しかし、建設にあたっては、建設費及び整備後の運営コスト等を含めた財政面の問題、建設する用地の取得や、都市計画法の規制の問題など、解決すべき課題が数多くあり、整備に至っていない状況にあります。特に、多くの運営費用が見込まれることから、それを賄うために、集客数や収益性が高く魅力的な自主事業を企画し、施設の稼働率を上げる必要があります。</p> <p>このようなことから、市民文化センターのほか、それに替わる多目的な交流拠点として複合施設などの整備も視野にいれ、今後も継続して検討してまいりたいと考えております。</p>	

質問 24 スケートボード練習場の建設について	10月15日(土) グリムの館
下野市にスケートボードができる公園がないので、大松山運動公園のプール跡地に、スケートボードの練習場を作ってください。	
回答	
<p>現在、大松山運動公園第2期整備事業において、プール跡地等の利活用の検討にあたり、「大松山運動公園の管理運営に係る民間活力導入可能性調査」を実施しております。</p> <p>調査の中には、BMXやスケートボード等のアーバンスポーツ施設をはじめ、カフェ等の民間収益施設など様々な施設等の導入の可能性を含めて検討をしているところでありますが、市としての必要性、競技特性や競技者人口等を十分考慮したうえで、可能な範囲でより多くの競技が行えるよう環境を整えていきたいと考えております。</p>	

質問 25 ごみの分別について	10月15日(土) グリムの館
<p>広報3月号でごみ排出量5割削減などと呼びかけていましたが、その後ごみの排出量に変化は見られたでしょうか。石橋地区と他2地区を比べると、石橋地区は燃やすごみが3割多く、プラ容器包装が2割少ないことがわかります。ごみの分別について、市民に理解される広報の工夫が必要ではないでしょうか。ごみ処理に対する諸経費を市民に知らせ、市民の分別意識を高める努力をお願いします。</p>	
回答	
<p>今年2月のクリーンパーク茂原の火災後のごみ搬出量については、大きく変化はしておりません。</p> <p>広報では、毎号1~2ページの紙面を使いまして、環境トピックスによりごみ分別などの周知を図るほか、毎年5月の自治会長会議にて、ごみの減量化、資源化の推進を呼びかけてまいりましたが、コロナ禍を契機にごみの搬出量が増加傾向にありますので、ごみの分別を進め、燃やすごみの排出量を減らす取組について、市民の皆様理解される広報の工夫が必要と考えております。</p>	

また、「ごみ減量化に関する住民説明会」を、今年度末に実施する予定であり、ごみ処理に要する諸経費などの周知を図り、ごみ処理の現状を理解いただくとともに、市民の皆様の分別意識を高める努力を続けていきたいと考えております。

質問 26 水道整備事業について	10月15日（土）グリムの館
<p>近年、県南地域でも異常な降水量による水害が発生しておりますが、そのような場合、表流水では復旧には時間とお金がかかり、市民に余計な負担がかかるのではないのでしょうか。これまで市が説明してきたリスク分散の考え方は、県側からの視点で考えられたものであり、市民側からの水道料金値上げなどのリスクは公表されておられません。大きな公的事業の情報公開を速やかにお願いします。</p>	
回答	
<p>地下水に100%依存する本市において、リスクが想定される限り、表流水の導入についても検討していくことが必要であると考えます。この計画については、現時点では参加、検討している段階ですので、今後料金等も考慮したうえで市民の皆様にもお知らせし、議会にも諮ったうえで決定したいと考えております。</p>	

質問 27 小中一貫教育のグランドデザインの方角性について	10月15日（土）グリムの館
<p>現状、一体型（南河内学区）と分離型（石橋、国分寺、南河内第二学区）とありますが、今後もこの方針は変わらないのでしょうか。どこかで見直しなどされるのでしょうか。</p>	
回答	
<p>南河内小中学校につきましては、施設一体型の小中一貫教育となりますが、その他の中学校区においては、小学校との位置関係を基に、南河内第二中学校区と石橋中学校区は施設分離型の小中一貫教育を、国分寺中学校区は、国分寺中と国分寺小は施設隣接型、国分寺東小学校とは施設分離型の小中一貫教育を進めております。施設等に変更がない場合には、この方針は変更せずに進めてまいります。</p> <p>地区ごとに作成しているグランドデザインにつきましては、小中一貫教育の導入時には研究テーマを3年間継続しましたが、基本的には2年に1度、見直しを図っております。今後も、学習指導要領の改訂の時期や、国や県からの指示事項等を踏まえて、定期的に見直しを進めてまいります。</p> <p>さらに、今後、児童生徒や地域の実態、施設の状況等の変化に応じて、小中一貫教育の進め方を見直すことも検討してまいります。</p>	

質問 28 小中一貫教育と学校適正配置の関係性について	10月15日（土）グリムの館
<p>細谷小学校は、学校適正配置の対象校になっておりますが、学校適正配置と小中一貫教育の関係性や優先度をお聞きしたいです。</p>	
回答	
<p>望ましい学校規模に向けた取組として、細谷小学校は、小規模特認校の解消を目指す学校として、特色ある学校づくりを行っていきます。学校と教育委員会が一体となり、保護者や地域住民と共に、具体的な方策を決定し推進してまいります。長期的な取組として、平成10年度から指定を受けている小規模特認校としての活動実績等を踏まえ、存続又は統合についての検討を行うこととしております。</p> <p>細谷小学校の特色ある取組を更に市民に広く周知しながら、小規模特認校制度を継続させ、複式学級の解消を目指すなどの取組の成果の検証を行い、児童の教育環境の充実を図ることを念頭に、更なる検証を行うこととしております。</p> <p>このことから、今年度から学校適正配置推進協議会を開催し、地域の皆様のご意見をいただきながら時代の変化に対応した子どもたちにとってよりよい教育環境を整備してまいります。小中一貫教育の種類につきましては、立地する学校を基本に検討するものであることから、現時点で「優先度」はございません。</p>	

質問 29 市民の健康増進について	10月15日(土) グリムの館
<p>1人1スポーツを提唱し、特に歩くことを推奨していただきたいです。</p> <p>特定検診などでの慢性疾病の改善を目指す方の協力をお願い、自治医科大学と連携して具体的な運動プログラムとそれによる効果をデータで示し、その結果を市民に示して共感を得ることが重要だと思います。</p>	
回答	
<p>健康しもつけ21プラン「第3次下野市健康増進計画」に基づいて市内や各種地域組織団体と目標にむけて健康づくりに取り組んでおりますが、特に高血圧・糖尿病・高脂血症等有病者の対策事業として、特定保健指導、糖尿病重症化予防事業を実施しております。減塩だけでなく、運動も含めた生活習慣を見直すことで検査値等を改善につなげるため、保健師、管理栄養士が6か月間で複数回面接し、一人ひとりに合わせた保健指導を実施しています。メタボリックシンドローム改善率、腹囲や体重測定において保健指導前後での改善率は約6割となっています。各種健康教室参加者には、今までの参加者における成功事例を説明していますが、今後は、参加勧奨などの際に教室参加者における成功者の事例なども周知していきたいと考えています。</p> <p>自治医科大学との連携につきましては、地域実証研究事業として集団検診時に「血管年齢検査」を実施し、検診受診及び特定保健指導受診率向上にむけて取り組んでいます。また、看護学部と共同で、自治会単位の「生活実態調査」を実施しており、調査結果については、栄養や運動のポイントを組み込んだリーフレットとして、対象の方全員にお返ししています。</p> <p>今後も、よりよい健康づくりを実践していくために、健康づくりボランティア団体等とも連携を強化し推進してまいります。</p>	

質問 30 石橋にぎわい広場について	10月15日(土) グリムの館
<p>広場開設後、屋外の活動がしやすい時期でもにぎわいの風景が見られていません。その一因として使用料があると思いますので、自治会・コミュニティ・市民活動補助団体等が利用する場合は無料にするべきであると思います。</p>	
回答	
<p>にぎわいの風景が見られない一因として、使用料もあると思いますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による各種活動の自粛も大きな要因になっていると考えております。</p> <p>現在は、徐々に全国的に人の流れが活発化してきておりますので、石橋にぎわい広場においても、今後多くの皆様に活用していただき、中心市街地に「にぎわいの創出」を図っていきたくと考えております。</p> <p>使用料につきましては、市民の皆様が利用しやすいよう、活動内容の公益性、公平性、補助団体等については、補助金の性質（運営補助であるのか、事業費補助であるのか）を精査させていただいたうえで、石橋にぎわい広場条例にあります使用料減免の適用を検討いたしますので、事前に商工観光課までご相談ください。</p>	

質問 31 水道整備事業について	10月15日(土) グリムの館
<p>やるべきでないことの第1が水道整備事業です。地盤沈下や地下水汚染などはありません。表流水の方が良いというのは間違いで、地震や原発汚染の被害があるのは表流水の方です。県や国の言う通り進めるのはやめて、市長の考えで進めていただくようお願いします。</p>	
回答	
<p>現時点では、地下水100%を今後もずっと続けられるとは水道事業管理者として言えないため、今は検討している段階です。栃木市、壬生町との2市1町の合意も必要であり、料金の問題など様々なことを検討したうえで、市民の皆様にもお伝えし、議会に諮って決定したいと考えております。</p>	